



# 宮城県職員（職業訓練指導員）募集要項

令和5年7月24日  
宮城県

令和5年度宮城県職員（職業訓練指導員）採用選考考査を、次のとおり行います。

## 1 職種・採用予定人員・職務内容

職種	採用予定人員	職務内容
職業訓練指導員（電子）	1人程度	県立高等技術専門校、国立県営宮城障害者職業能力開発校等に勤務し、職業訓練指導業務に従事します。
職業訓練指導員（電気工事）	1人程度	
職業訓練指導員（広告美術）	1人程度	

## 2 応募資格

### (1) 年齢・資格

職種	応募資格
職業訓練指導員（電子）	昭和58年4月2日以降に生まれた人で、職業能力開発促進法に規定する電子科の職業訓練指導員免許を有する人（令和6年3月31日までに取得見込みの人を含む。）
職業訓練指導員（電気工事）	昭和58年4月2日以降に生まれた人で、職業能力開発促進法に規定する電気工事科の職業訓練指導員免許を有する人（令和6年3月31日までに取得見込みの人を含む。）
職業訓練指導員（広告美術）	昭和58年4月2日以降に生まれた人で、職業能力開発促進法に規定する広告美術科の職業訓練指導員免許を有する人（令和6年3月31日までに取得見込みの人を含む。）

(2) 次のいずれかに該当する人は、(1)の要件を満たしても応募できません。

- ① 日本の国籍を有しない人
- ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- ③ 宮城県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- ④ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
- ⑤ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人（心神耗弱を原因とする人を除く。）

## 3 考査の実施時期・考査種目・考査会場

考査の実施時期	考査種目	考査会場
第一次考査 令和5年9月24日(日) 受付開始 9:00 着席時刻 9:40 終了予定 15:05	教養考査 (択一式)	下記の4か所の考査会場のうち、いずれかを受考票で指定します。 ・宮城県宮城第一高等学校 (仙台市青葉区八幡一丁目6-2) ・宮城県宮城広瀬高等学校 (仙台市青葉区落合四丁目4-1) ・宮城県仙台三桜高等学校 (仙台市太白区門前町9-2) ・宮城県行政庁舎 (仙台市青葉区本町三丁目8-1)
	論文考査	
第二次考査 令和5年10月18日(水)から10月24日(火)のうち指定する日	適性検査 人物考査	・仙台市内

(注) 第2次考査の詳細については、第1次考査合格者に書面でお知らせします。

(注) 論文考査については、第2次考査として評価します。

### 災害や新型コロナウイルス感染症等への対応について

やむを得ない事情により考査日時、考査会場及び合格発表を変更する場合などの緊急のお知らせ、新型コロナウイルス感染症に関する注意事項などについては、宮城県職員採用試験情報トップページでお知らせします。

宮城県職員採用試験情報トップページ



## 4 考査内容

考査種目		内 容
第1次考査	教養考査 (択一式)	公務員として必要な短期大学(高等専門学校)卒業程度の一般的知識及び知能についての筆記考査 (題数50題 時間150分)
	論文考査	公務員として必要な文章による表現力、判断力、思考力等についての筆記考査 (時間80分) ※ 第2次考査として評価します。
第2次考査	適性検査	職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物考査	公務員としての適格性についての人物面からの考査(個別面接)
資格調査		応募資格の有無、受考申込書に記入された内容の真否等についての調査

※ 筆記考査の出題は、日本語の活字印刷文により行い、解答も日本語でしていただきます。

## 5 考査の配点及び合格者の決定方法

### (1) 配点

職 種	第1次考査		第2次考査			総合得点
	教養考査	計	論文考査	人物考査	計	
職業訓練指導員	100	100	100	200	300	400

※ 第2次考査の適性検査については、適否のみ判定し、得点化しません。

(2) 最終合格者は第1次考査、第2次考査の結果を総合して決定します。

(3) 各考査種目の得点は、原則として標準点化します。標準点とは、平均点及び標準偏差等を用いて算出するもので、受考者の点数は、おおむね0点から100点(人物考査については200点)に分布し、平均点は50点(人物考査については100点)となります。ただし、考査種目ごとの受考者数によっては、標準点化しない場合もあります。

(4) 各考査種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格になります。

## 6 教養考査の出題分野

社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

## 7 受考上の配慮

障害により、車椅子等を使用するなど、受考上の配慮を希望する人は、受考申込時に宮城県総務部人事課人事企画・研修班(電話(022)211-2227)に連絡してください。

## 8 論文考査の課題例

### 職業訓練指導員※全職種共通

「地域産業の持続的な成長のために公共職業訓練が果たす役割についてあなたの考えを述べるとともに、あわせて、宮城県職員の職業訓練指導員になるに当たっての抱負を述べなさい。」

## 9 申込受付期間・受考手続等

＜＜原則としてインターネット（電子申請）により申し込んでください。＞＞

### (1) インターネットで申し込む場合

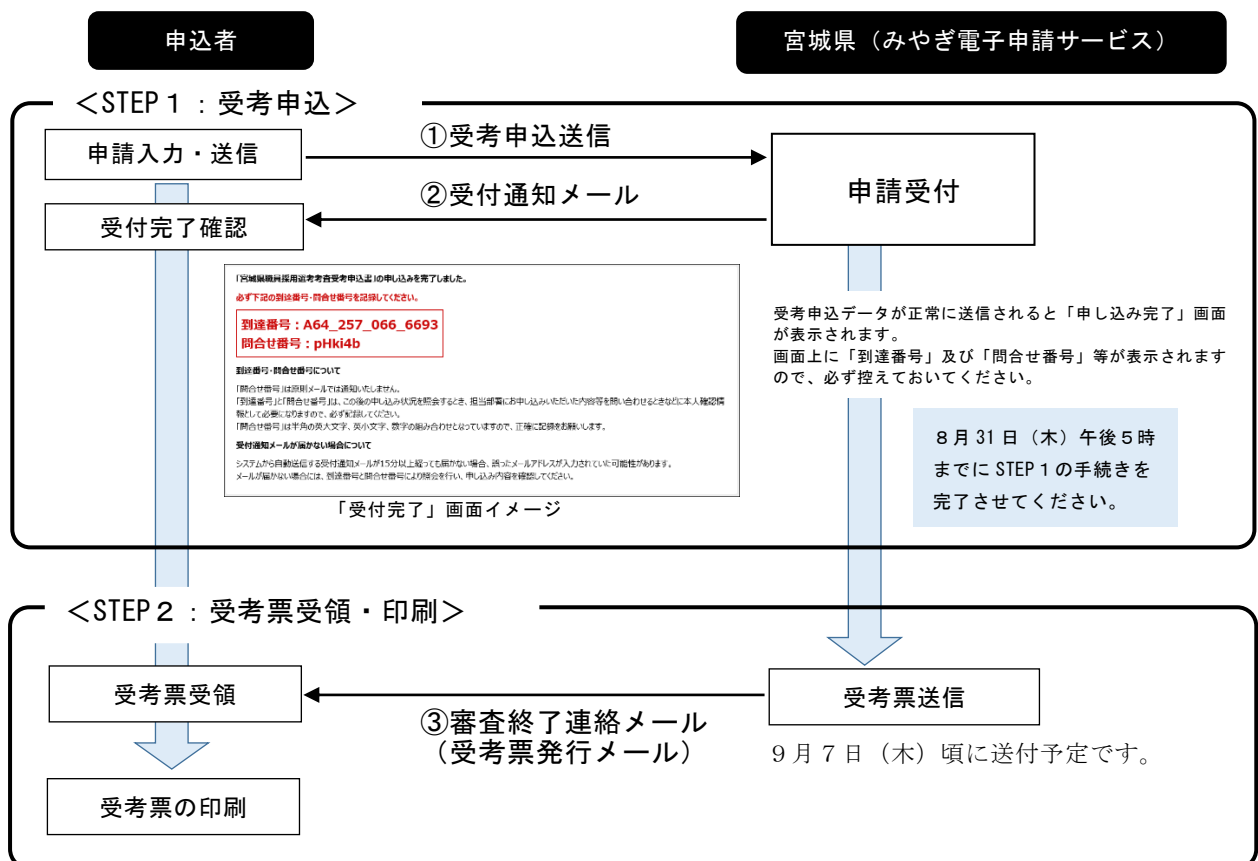
申込受付期間	令和5年8月4日（金）午前9時から8月31日（木）午後5時まで ※受考申込期間最終日は、みやぎ電子申請サービスへのアクセスが集中し、手続きに時間がかかる場合があります。また、通信回線上の障害が原因であっても、申込受付期間を過ぎると受付できませんので、余裕をもって早めに申込手続を行ってください。
申込方法及び申込先	下記「電子申請フロー図」及び宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」などをよく確認の上、みやぎ電子申請サービス ( <a href="https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1686786900866">https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1686786900866</a> ) へアクセスし、申し込んでください。
受考票の交付	令和5年9月7日（木）頃に発行します。 「受考票」を電子メールで送付しますので、第1次考査当日に持参してください。

### 電子申請フロー図

宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」を必ず確認してください。

■インターネットによる申込みには、次のものがが必要です。

- ・パソコン又はタブレット端末若しくはスマートフォン（一部非対応機種あり）（携帯電話は不可）
- ・本人のメールアドレス
- ・A4サイズが出力できるプリンタ（コンビニのプリントサービスの利用も可）



### (2) 郵送又は持参で申し込む場合（インターネットによる申込みができない人）

申込受付期間	令和5年8月4日（金）から8月31日（木）まで （持参する場合の受付時間は午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）とします。郵送で申し込む場合は令和5年8月31日までの消印のあるもので、令和5年9月20日（水）までに宮城県総務部人事課に届いたものに限って受け付けます。）
--------	---

<p>申込方法及び申込先</p>	<p>次の書類を「宮城県総務部人事課」（〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1）に提出してください。          郵送で申し込む場合は、封筒の表に「受考申込（職業訓練指導員）」と朱書して、「簡易書留郵便」等の確実な方法により郵送してください。          なお、受考申込書は、郵便法（昭和22年法律第165号）上の信書に該当するため、郵送以外の方法で送ることはできません。          ① 宮城県職員採用選考査受考申込書（所定の様式を使用し、<u>写真</u>を貼付したもの。）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部          ② 宮城県職員（職業訓練指導員）募集要項受考票にある「受考用はがき宛名」及び「受考票」を点線に沿って切り抜き、<u>63円切手</u>を貼付した郵便はがきの表裏にそれぞれのり付けしたもの。・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部          ※受考申込書及び受考票は宮城県総務部人事課のホームページ（<a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/</a>）からダウンロードすることもできます。          ③ 職業訓練指導員免許等応募資格を有することを証明する証書の写し等 1部</p>
<p>受考票の交付</p>	<p>受考票は申込受付期間終了後に郵送しますが、令和5年9月14日（木）までに届かない場合は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）まで連絡してください。</p>

### 10 合格発表・採用時期等

- 第1次考査の合格発表は、令和5年10月5日（木）（予定）に、第2次考査の合格発表は、令和5年11月中旬に、合格者の受考番号を宮城県行政庁舎1階に掲示します。また、宮城県職員採用試験情報トップページに掲載するほか、合格者には書面でお知らせします。
- 最終合格者については、面接を経て、原則として令和6年4月1日以降に採用する予定です。ただし、職業訓練指導員の免許など「2 応募資格」に定める資格を取得する見込みの人は、その資格を採用の時点までに取得することが必要です。
- 詳細については、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話（022）211-2227）にお問い合わせください。

### 11 考査結果の提供

- この考査の結果については、開示請求によらずに即日提供を受けることができます（下表参照）。  
 提供を希望する場合は、受考者本人又はその法定代理人（ただし、法定代理人による申込みは、受考者が申込時に未成年である場合に限り）が、下表に掲げる書類を持参の上、午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）に、下表の提供場所に直接おいでください。  
 なお、電話により考査結果の提供を受けることはできません。

提供を受けることができる人	提供内容	受付期間	提供場所
第1次考査不合格者	考査種目別の得点、総合得点及び総合順位	第1次考査合格発表日から1か月間	宮城県人事委員会事務局 (仙台市青葉区本町三丁目8-1 (県庁17階))
第1次考査合格者	総合得点及び総合順位	最終合格発表日から1か月間	
<p>〔受考者本人が申込みする場合に必要な書類〕            受考票及び本人であることを証明する書類（運転免許証、健康保険の被保険者証、個人番号カード等）            〔受考者の法定代理人が申込みする場合に必要な書類〕            受考者本人の受考票、法定代理人に係る本人であることを証明する書類（法定代理人自身の運転免許証、健康保険の被保険者証、個人番号カード等）及び受考者の法定代理人であることを証明する書類（戸籍謄本又は抄本等）</p>			

（注）第1次考査合格者のうち第2次考査を受考しなかった人には、総合得点及び総合順位は付されません。

- 考査結果の提供についての詳細は、宮城県人事委員会事務局（電話（022）211-3761）にお問い合わせください。

### 12 採用時の給与

- 県立高等技術専門校等に配属された場合の大学新卒者の初任給は、地域手当（仙台市内勤務の場合）を含め、おおむね次のとおりです。（令和5年4月現在）

職 種	学 歴	初 任 給
職業訓練指導員	大学卒	201,162円

- 民間等における職歴がある場合は、一定の基準により職歴期間を加算の上、初任給が決定されます。

- (3) (1)のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（年間約4.4か月分）等がそれぞれの要件により支給されます。

### 13 その他

この考査についての詳細は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227)にお問い合わせください。

なお、職業訓練指導員免許の取得方法についての詳細は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課人材育成第二班（電話(022)211-2763)にお問い合わせください。

#### 注意事項

各考査会場に駐車場はありませんので、自家用車での来場はご遠慮ください。特に、近隣商業施設等への無断駐車（送迎の待機等）は、絶対に行わないでください。

また、送迎であっても、近隣に長時間停車されますと周辺住民のご迷惑となりますので、乗降後は速やかに移動願います。

## 電子科の職業訓練指導員免許の取得方法

次のいずれかの要件を満たす場合には、申請により職業訓練指導員免許が取得できます。

- (1) 指導員訓練のうち厚生労働省令で定める訓練課程を修了した人。
- (2) 職業訓練指導員試験（電子科）の実技及び学科試験に合格した人。  
 職業能力開発促進法施行規則別表第 11 の 2 の検定職種（電子回路接続／電子機器組立て／半導体製品製造／自動販売機調整）の技能検定 1 級に合格し、職業訓練指導員試験の指導方法に合格している人を含む。
- (3) 次の表の試験科目を修めた人で、看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉又は福祉実習の教科について高等学校の教員の普通免許状を有する人。

実技試験の科目		① 通信設備
		② 電子機器組立て
学科試験の科目のうち関連学科	系基礎学科	① 電気理論(電気磁気学 直流及び交流理論)
		② 電子工学(デジタル回路 アナログ回路 半導体工学 測定法)
		③ 電気・電子機器(電気機器 電子機器)
		④ 材料(電気材料 電子部品)
		⑤ 安全衛生(安全管理 衛生管理)
	専攻学科	① 通信工学(情報理論 通信システム方式 伝送工学 通信処理)
		② 機器設備(端末設備 伝送交換設備 ネットワーク)
		③ 制御工学(制御理論 数値制御 コンピュータ制御)
④ 工作法(電子回路の設計 電子機器の組立て、修理及び調整法)		

- (4) 厚生労働大臣が指定する講習（48 時間講習）を修了した人。

講習の主な受講資格

受講資格		実務経験 必要年数	備考
学校教育	●大学卒業	2	
	●高等専門学校卒業	4	
	●短期大学卒業	4	
	●職業課程の高等学校卒業	7	
職業訓練	○応用課程の高度職業訓練修了	1	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	3	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	4	
	○普通課程の普通職業訓練修了	6	技能照査合格者とする
1 級技能検定合格者（電子回路接続／電子機器組立て／半導体製品製造／自動販売機調整）		0	

●印は（3）の表の試験科目を履修していることが必要です。

○印は免許職種に相当する訓練科を修了していることが必要です。

※不明な点は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課人材育成第二班までお問い合わせください。

（電話：022-211-2763 FAX：022-211-2769 Email：sanzinj2@pref.miyagi.lg.jp）

## 電気工事科の職業訓練指導員免許の取得方法

次のいずれかの要件を満たす場合には、申請により職業訓練指導員免許が取得できます。

- (1) 指導員訓練のうち厚生労働省令で定める訓練課程を修了した人。
- (2) 職業訓練指導員試験（電気工事科）の実技及び学科試験に合格した人。
- (3) 次の表の試験科目を修めた人で、看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉又は福祉実習の教科について高等学校の教員の普通免許状を有する人。

実技試験の科目		① 電気工事
		② 動力制御回路工事
学科試験の科目 のうち関連学科	系基礎学科	① 電気理論(電気磁気学 直流及び交流理論)
		② 電気機器(電気機器 電気材料)
		③ 電気製図(読図法)
		④ 計測工学(電気計測 測定及び試験)
		⑤ 安全衛生(安全管理 衛生管理)
		⑥ 関係法規(電気事業法 電気工事士法)
	専攻学科	① 配線設計(受電設備設計 引込配線設計 屋内配線設計)
		② 電気工事(接地工事 受電設備配線 引込配線工事 高圧線工事 屋内配線工事 関連設備)

- (4) 厚生労働大臣が指定する講習（48 時間講習）を修了した人。

講習の主な受講資格

受 講 資 格		実務経験 必要年数	備 考
学 校 教 育	●大学卒業	2	
	●高等専門学校卒業	4	
	●短期大学卒業	4	
	●職業課程の高等学校卒業	7	
職 業 訓 練	○応用課程の高度職業訓練修了	1	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	3	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	4	
	○普通課程の普通職業訓練修了	6	技能照査合格者とする

●印は（3）の表の試験科目を履修していることが必要です。

○印は免許職種に相当する訓練科を修了していることが必要です。

※不明な点は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課人材育成第二班までお問い合わせください。  
（電話：022-211-2763 FAX：022-211-2769 Email：sanzinj2@pref.miyagi.lg.jp）

## 広告美術科の職業訓練指導員免許の取得方法

次のいずれかの要件を満たす場合には、申請により職業訓練指導員免許が取得できます。

- (1) 指導員訓練のうち厚生労働省令で定める訓練課程を修了した人。
- (2) 職業訓練指導員試験（広告美術科）の実技及び学科試験に合格した人。  
職業能力開発促進法施行規則別表第 11 の 2 の検定職種（広告美術仕上げ）の技能検定 1 級に合格し、職業訓練指導員試験の指導方法に合格している人を含む。
- (3) 次の表の試験科目を修めた人で、看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉又は福祉実習の教科について高等学校の教員の普通免許状を有する人。

実技試験の科目		① 広告物製作
		② 広告物施工
学科試験の科目のうち関連学科	系基礎学科	① マーケティング論(市場調査 仕様及び積算)
		② デザイン(デザイン史 構成 色彩 造形 図案 製図)
		③ 材料及び加工法(加工法 各種材料と特徴)
		④ 安全衛生(安全管理 衛生管理)
	専攻学科	① 広告美術(広告物の定義 企画及び表現 関係法規)
		② 施工法(広告物の製作及び取付法 ディスプレイの製作及び施工法)

- (4) 厚生労働大臣が指定する講習（48 時間講習）を修了した人。

講習の主な受講資格

受講資格		実務経験 必要年数	備考
学校教育	●大学卒業	2	
	●高等専門学校卒業	4	
	●短期大学卒業	4	
	●職業課程の高等学校卒業	7	
職業訓練	○応用課程の高度職業訓練修了	1	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	3	技能照査合格者とする
	○専門課程の高度職業訓練修了	4	
	○普通課程の普通職業訓練修了	6	技能照査合格者とする
1 級技能検定合格者（広告美術仕上げ）		0	

●印は（3）の表の試験科目を履修していることが必要です。

○印は免許職種に相当する訓練科を修了していることが必要です。

※不明な点は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課人材育成第二班までお問い合わせください。  
（電話：022-211-2763 FAX：022-211-2769 Email：sanzinj2@pref.miyagi.lg.jp）